

恵方巻

平成25年恵方
南南東

此花区発祥!?



今や節分の定番である「巻き寿司のまるかぶり」
実は此花区の伝法（当時の申村）が「発祥」と言われています。

恵方巻きとは？

節分にその年の恵方に向かって目を閉じて、一言もしゃべらず願い事を思い浮かべながら「巻き寿司」を丸かぶりするのが習わしとされています。

昔の節分の日、申村（今の伝法）では「世念講（よねんこ）」といわれる講があり、ここでは村の若者や船頭衆や川人夫が集まって、夜通し雑談や将棋・囲碁・花札、墓場への肝試しなどを楽しんでいました。このとき「巻き寿司」を食べることが当時の習慣でしたが、人数が多いので、巻き寿司を切り分けては間に合わず「腹がすいた。切らずにそのままおくれ」の声が高まり、丸かぶりするようになったのが発祥と言われています。

